

# 経理・人事等のアウトソーシング スピードと品質にこだわり ワンストップサービスを提供

海外と同様、日本でも経理・人事などの業務をアウトソーシングする企業が増えている。コストダウンに加えて、決算の早期開示、品質の向上、グループ内の業務品質・ルールの標準化、最新の法制度等への対応などが背景にある。CSアカウンティングは、関連業務を一括して請け負うワンストップサービスを提供して、多くの企業から信頼を得ている。専務取締役の中尾篤史氏に、アウトソーシングのメリットや同社の優位性について聞いた。

——最近では日本でもアウトソーシング市場が伸びているのでしょうか。また、その背景を教えてください。

1990年代、かつて日本企業に後じんを拜していた米国の製造業が復活の

兆しを見せた原動力のひとつが、実はアウトソーシングでした。海外企業でアウトソーシングが浸透したのに伴って、日本でもコストダウンの一環として着実に拡大しています。

経理のアウトソーシングの目的のひとつは、ホワイトカラーの生産性向上です。過去の数値を扱うことに時間と労力を費やすのではなく、将来のための予算管理など競合優位性を得るためにコア業務に集中した方がいいという考え方です。

社内の人間でなくてもできるような業務は外部の専門会社に委託する。そうすることで、品質が高くなり、対応もスピーディーになります。

——品質とは具体的にどういうことでしょうか。

経理のアウトソーシングは単純に外部に出せばいいというものではありません。同時に経理業務の標準化を図るわけですね。例えば、会計や税務の法律等は頻りに改正されます。最新の法制度にのっとった、ミスのない業務品質が求められています。

また、M&A（合併・買収）も増えていますが、買収先企業の経理処理基準が異なっていたり、専任者の経験や知識にバラつきがあったりします。そのため、本社の経理業務は社員が行い、

「**タフな顧客ニーズに応えるため  
自社の業務プロセスも常に改善**」

CSアカウンティング株式会社

専務取締役 **中尾 篤史** 氏



子会社や関連会社の経理をアウトソーシングする例も多いですね。経理業務を長年同じ人が担当することで不正にもつながります。アウトソーシングはそうした不正流用の牽制にもなります。

スピードについてですが、決算日から数日で報告書をまとめてほしいという要望も増えてきています。本社の決算発表から逆算して、子会社の数字は「その20日前に欲しい」という企業も少なくありません。ディスクロース義務のある上場企業であれば、株主に対する説明責任もあるのでなおさらです。

## ワンストップサービスが強み

——御社の強みや優位性はどこにあるのでしょうか。

当社は約150人の社員のほか、グループ内の税理士法人、社会保険労務士法人などの専門家と組み、会計、経理、税務、購買管理、販売管理、給与計算、社会保険業務など経理・人事業務のすべてをワンストップで提供しています。現在、上場企業を含めて約1000社に導入いただいています。

一般的な会計士・税理士は最後の申告だけやって日々のベース作業はやらないところも多いのですが、当社はそうしたプロセスも含めてフルラインナップで広範な業務領域をカバーします。

また、当社では顧客企業とデータの同期化を図るために、会計システムなどでクラウドサービスを提供しています。お客様のところに出向くことなく、当社も深夜や休日など時間に関係なく業務を進めることができます。

データ管理についても、ISMSというセキュリティマネジメントの認証資格を取得して万全を期しています。同業他社でも非常に少ないと思います。

——他にワンストップサービスのメリットはありますか。

複数のアウトソーサーに業務を委託した場合、横の連携がうまくとれないことで会計と税務の処理に相違が生じたり、社内の担当者がその調整に追われたりすることがあります。ワンストップサービスであれば、そうしたリスクをなくすることができます。

最近では大企業を中心にSSC（シェアドサービスセンター）を別会社で設立して、グループ内からアウトソーシング業務を請け負うケースも増えてきています。そこでの業務を補完するために、さらに当社と組んで協業することで、win-winの関係を構築している例もあります。

『アウトソーシング時代の経理  
—経理標準化のすすめ—』

CSアカウンティング  
中尾篤史／平野真理子／伊藤元一 著  
税務経理協会 1575円

アウトソーシング導入の目的やステップ、事例などを紹介するとともに、経理業務の標準化・早期化など、経理部門改善のためのヒントを分かりやすく解説している。

——どのような企業からの委託が多いのでしょうか。

先ほども申しましたが、上場企業でも非上場の中堅企業でも、コア業務に関して今後の事業展開を強く意識している、より戦略的に未来経営をめざす企業が多いですね。

経理担当の社員が退職などでいなくなった場合、すぐに新たな人材配置ができません。人員を縮小していることもあって、後任の教育にも時間がかかります。そうした将来へのリスクヘッジや経営基盤の安定確保のためにも、当社のワンストップアウトソーシングを導入する企業は増えています。

——今後の展望を教えてください。

時代の要請として、決算早期化に対応するスピード、そして正確性がますます求められるでしょう。その意味で、顧客企業からタフでレベルの高い要求を与えていただくことで、当社もさらに成長すると思っています。

こうしたお客様の要望に応えられるよう、当社も業務プロセスを常に改善して効率化・標準化を推し進め、今後さらに品質の高いサービスを提供していくつもりです。



CSアカウンティング株式会社

〒163-0630 東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル30F  
TEL: 03-5908-3421  
http://www.cs-acctg.com